

定例記者会見資料



○日 時	令和2年3月11日（水） 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大予防に関する対応状況 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津和野町長への提言書の提出について〔資料1〕
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試（前期日程）合格者の発表について〔資料2〕 ・一般入試（後期日程）の実施及び志願状況について （浜田キャンパス・松江キャンパス）〔資料3〕 ・令和元年度年度学生表彰「島根県立大学賞」の授与について〔資料4〕 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院看護学研究科看護学専攻高度実践者養成コース診療看護師（NP） プライマリ・ケア領域の開設について〔資料5〕 ・献血サークルあかえんぴつくん 文部科学大臣賞受賞について〔資料6〕
○その他	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式中止に伴う学長メッセージについて

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 令和2年4月10日（金）13:30から開催予定です。

津和野町長への提言書の提出について

1. 目的・趣旨

浜田キャンパス井上厚史教授のゼミでは平成31年度地域貢献推進奨励金を活用し、精力的に津和野町の調査を実施してきました。取り組みの一つとして2020年2月7～8日に町民アンケートを実施し、143名から回答を得ました。その結果を踏まえた3つの提言を津和野町長へ提出します。

2. 日時

令和2年3月25日(水) 13:30から

3. 会場

津和野町本庁舎 町長室 (島根県鹿足郡津和野町日原 54-25)

4. 提言内容

- ① 「旧喜多屋」を使った「寺子屋」
- ② 「津和野まるごとマルシェ」を活かした「大学生が経営するくまると食堂」
- ③ 「日原にぎわい創出拠点かわべ」を使った「人×文化交流プラン」

5. 出席者

下森博之 津和野町長

井上ゼミ学生：佐合里緒(さごうりお 2年生)、飯塚大樹(いいつかだいき 2年生)

6. 平成31年度地域貢献推進奨励金研究テーマ

「大学生の地域課題発見能力の養成と地域活性化に関する提言書の作成
—地域おこし協力隊との協働の可能性を検証する—」

令和 2 年 3 月 11 日

島根県立大学アドミッション室

担当者 岩本・松崎

電 話 0855-24-2203

一般入試（前期日程）合格者の発表について

令和 2 年度一般入試（前期日程）の合格者を発表しましたので、お知らせします。

■島根県立大学（令和 2 年 3 月 5 日発表）：前期日程

	定員①	志願者数 ②	受験者数 ③	合格者数 ④	うち 県内者	志願倍 率 ②／①	実質倍 率 ③／④
総合政策学部 総合政策学科 (3 教科型)	60 名	1030 名	1030 名 (789 名)	120 名	7 名	17.2 倍	8.6 倍
総合政策学部 総合政策学科 (5 教科型)	60 名	267 名	267 名 (217 名)	83 名	7 名	4.5 倍	3.2 倍
看護栄養学部 看護学科	40 名	228 名	187 名	51 名	7 名	5.7 倍	3.7 倍
看護栄養学部 健康栄養学科	20 名	87 名	66 名	23 名	2 名	4.4 倍	2.9 倍
人間文化学部 保育教育学科	20 名	117 名	83 名	26 名	10 名	5.9 倍	3.2 倍
人間文化学部 地域文化学科	30 名	217 名	190 名	46 名	14 名	7.2 倍	4.1 倍
【合計】	230 名	1946 名	1823 名	349 名	47 名	8.5 倍	5.2 倍

注：（ ）内は個別学力検査を受験した受験者数です。

総合政策学部では、個別学力検査を受けなかった場合でも大学入試センター試験の成績のみを利用し合否判定を行います。

■島根県立大学短期大学部（令和 2 年 2 月 21 日発表）

	定員①	志願者数 ②	受験者数 ③	合格者数 ④	うち 県内者	志願 倍率 ②／①	実質 倍率 ③／④
保育学科	20 名	84 名	84 名	35 名	24 名	4.2 倍	2.4 倍
総合文化学科	20 名	81 名	79 名	36 名	31 名	4.0 倍	2.2 倍
【合計】	40 名	165 名	163 名	71 名	55 名	4.1 倍	2.3 倍

以上

【資料3】

令和2年3月11日
島根県立大学アドミッションセンター
担当者 岩本・松崎
電話 0855-24-2203

令和2年度島根県立大学一般入試（後期日程）の実施及び志願状況について

1 試験日

- ・総合政策学部 総合政策学科 [浜田キャンパス] : 令和2年3月12日（木）、13日（金）
- ・人間文化学部 地域文化学科 [松江キャンパス] : 令和2年3月12日（木）、13日（金）

※人間文化学部（保育教育学科）と看護栄養学部 [出雲キャンパス] は、前期日程のみの実施です。

2 個別学力試験科目

面接試験

※大学入試センター試験の成績と面接の成績により評価をおこないます。

3 募集人員・志願者数等

学科	募集人員 (a)	志願者数 (b)	志願倍率 (b/a)	昨年度実績	
				志願者数 (c)	志願倍率 (c/a)
総合政策学部 総合政策学科	25	561	22.44	182	7.28
人間文化学部 地域文化学科	10	467	46.70	146	14.60

4 合格発表について

- ・総合政策学部 総合政策学科 : 令和2年3月20日（金・祝）10時
- ・人間文化学部 地域文化学科 : 令和2年3月20日（金・祝）13時

5 取材について

取材を希望される報道機関は、前日までに下記担当者までお知らせください。

総合政策学部 総合政策学科 :

浜田キャンパス 教育支援部長 中澤 (TEL : 0855-24-2282)

人間文化学部 地域文化学科 :

松江キャンパス 教務学生課 吉村、植田 (TEL : 0852-20-0215)

令和元年度学生表彰

「島根県立大学賞」の授与について

令和元年度「島根県立大学賞」を以下のとおり授与します。これらの賞は、本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の範となる行動を行い、又は優秀な成果を挙げた場合等に表彰を行うものです。

表彰部門及び選考対象

- (1) 学術部門 公表された学術研究成果
- (2) 芸術部門 文学、美術、音楽、演劇等の分野において発表された作品
- (3) スポーツ部門 公的な大会における上位入賞その他これに準ずる場合
- (4) 文化活動部門 本学及び学外における課外文化活動の成果発表、展示等
- (5) 社会活動部門 ボランティア活動、人命救助その他の社会の範となる活動を行った場合

「令和元年度島根県立大学賞」 浜田キャンパス受賞者（個人：6名、団体：4団体）

(1)

受賞者	4年生 家迫 秀和
部門	社会活動
功績等	地域のボランティアに参加しながら、大田市の防災機関へのインタビュー調査や防災意識調査を実施し、研究に取り組んだ。これらの研究結果の地域への還元を通じて、「大田市防災フォーラム」では、自らが企画・運営を行い、「令和元年度防災講演会」では事例報告を行うなど、地域の防災力向上につながる多大な貢献を行った。

(2)

受賞者	4年生 梶 瑞希
部門	社会活動
功績等	中学生向けの学習支援である「HAMADA 留学」への活動など子育て支援を中心としたボランティア活動を行った。卒業研究においては、浜田市の「ファミリー・サポート・センター」の会員を対象とした調査を行い、研究活動を通じた地域の子育て支援への貢献を行った。

(3)

受賞者	4年生 月城 麻衣
部門	社会活動
功績等	「観光大使はまだ 2018」に就任し、「浜田市の顔」として、浜田市警察と共に交通安全の呼びかけを行ったり、県外で浜田市並びに石見地方の地域資源のPRを行った。1年間の任期を全うし、地域社会に貢献した。

(4)

受賞者	4年生 秦 茉由
部門	社会活動
功績等	ひとり親支援に関心を持ち、浜田市の自治体担当者へのインタビュー調査やひとり親世帯の生活実態調査を行った。研究活動を通じて浜田市のひとり親の支援策へ多大な貢献を行った。

(5)

受賞者	4年生 春若 美咲
部門	社会活動
功績等	1年次からボランティア活動に取り組み、毎年ボランティア活動回数上位者表彰を受賞。中学生向けの学習支援である「HAMADA 留学」では、運営に携わるなど、地域社会に多大な貢献を行った、

(6)

受賞者	3年生 吉川 和希
部門	スポーツ
功績等	「第42回中国四国学生陸上競技選手権大会」において、走高跳種目で上位入賞、「第73回島根陸上競技選手権大会」において、「第73回中国五県陸上競技対校選手権大会」の出場権を獲得するなど、優秀な成績を収めた。

【団体の部】

(1)

受賞者	総合政策学部齋藤暁子ゼミ
部門	社会活動
功績等	浜田市をフィールドに認知症啓発活動の実態と課題を明らかにし、検討を行った。また、認知症の基礎知識習得のため、ゼミ生全員が認知症支援講座を受講し、サポーター資格を取得。浜田市の認知症カフェへの参与観察調査や駅北フェスタで認知症啓発のスピーチをする等、地域社会に多大な貢献を行った。

(2)

受賞者	日中学術交流に取り組んだ李憲ゼミ7名
部門	学術
功績等	「嫡出推定の及ばない子」に関連する判例を収集・整理し、「中国・北京航空航天大学法学院」にて報告を行った。嫡出推定制度を持たない中国民法典の立法作業に重要な比較法的参考材料を提供した。

(3)

受賞者	島根県立大学 BBS サークル
部門	社会活動
功績等	
青少年の健全育成を目的に、青少年の非行防止活動に取り組み、浜田市教育委員会など行政や地域と連携し、「公民館通学合宿」や「やんちゃプレイス」など様々なボランティア活動を行った。約 15 年間の活動実績が評価され、「令和元年度未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」において、「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞した。	

(4)

受賞者	よさこい橙蘭
部門	社会活動
功績等	
2008 年の設立以来、島根県を中心として毎年約 50 もの地域イベントに参加。中国・九州地方のお祭りに参加し、「第 10 回火の国 YOSAKOI まつり」において第 3 位、「第 3 回ふくのやまよさこい」にてローズマインド賞、「さのよいファイヤーカーニバル 2019 A ブロック」にて A ブロック賞など数多く受賞。演舞を通して地域の方との交流を積極的に行い、笑顔と元気を届けている。	

➤ **表彰式**

未定

➤ **問い合わせ先**

所属：島根県立大学浜田キャンパス教務学生課 藤本 早織

電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352

電子メール：h-kyoumu@u-shimane.ac.jp

「令和元年度島根県立大学賞」出雲キャンパス受賞者（団体：1団体）

(1)

受賞者	災害研究会 (DSAC : Disaster Study Assistance Circle)
部門	社会活動
推薦理由	
<p>2017年10月に発足した学生サークル「災害研究会(DSAC)」は、災害看護や災害医療について学びながら、地域の防災力向上など、地域貢献・地域支援を目的として活動している。2018年度は、鳶巣地区災害対策委員会と共催で防災講演会を2回開催した。また、鳶巣地区文化祭や大学祭(つわぶき祭)では、毎年防災関連の展示をおこない、防災・減災の啓発活動をおこなっている。</p> <p>さらに同年、先進の防災設備を有する近畿圏の防災体育館を見学し、本学に隣接して建設が予定されている新出雲市体育館の防災機能・避難所機能などについて、ハード・ソフト両面にわたる提言書をまとめて出雲市長へ提出した。</p> <p>また、豪雨災害の被災地である広島県安芸郡坂町の仮設住宅集会所を訪問して、血圧測定やオロリン体操、茶話会などで被災者の方々との健康交流会を開催した。今年度末にも継続して広島県の被災地訪問を行う計画である。</p> <p>本年10月には、防災ピクニックと題し、学生らがコーディネートしたオリジナルの防災リュックに非常食など23品目を入れて背負い、斐伊川河川敷公園までの約1kmを歩いた。斐伊川が氾濫した場合どこまで浸水するのか、ハザードマップと照らし合わせながら危険地域や避難場所の確認を行った。土嚢作りによる水防活動体験も併せて実施し、備えることの大切さを参加した住民親子らに伝えた。</p> <p>相次ぐ災害のため、地域住民の関心も高い今こそ、地域目線でリアリティのある防災・減災活動が重要となる。被災地での災害支援活動から得た経験や、看護・栄養の専門的知識を活かして、若い力とアイデアをもって、地域の防災力向上へ向けた活動を続けていくことが期待される。</p>	

➤ 表彰式

日時：令和2年3月12日(木) 9:00～

場所：出雲キャンパス大会議室

➤ 問い合わせ先

所属 島根県立大学出雲キャンパス教務学生課 坂田 栄一郎

電話：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

電子メール：i-kyoumu@u-shimane.ac.jp

「令和元年度島根県立大学学長賞・島根県立大学短期大学部学長賞」

松江キャンパス受賞者（団体：1団体）

受賞者	SKDM（島根県立大学松江キャンパス）ダンスサークル（14名）
部門	社会活動
推薦理由	島根県主催で行われたスポーツリクリエーション祭のフォークダンス大会にゲスト出演し、300人以上のダンス愛好家を前にデモンストレーションとしてダンスを披露、大好評を得た。その活躍を見た松江だんだん夏踊り（お城祭り）の関係者から声がかかり、同イベントに出演した。また、松江市教育委員会などが主催する松江市小学校表現運動大会にも招かれ、島根県民会館大ホールにおいて、小学生や保護者の前で模範演技を行うゲスト出演を果たした。さらに、松江市が主催する松江市農林水産祭にもゲスト出演。祭りの盛り上げに一役買った。

➤ 表彰式

(1) 短期大学部2年生6名については、令和元年度卒業式終了後の学科別授与式にて行う。

日時：令和2年3月16日(月) 場所：島根県立大学

(2) 短期大学部1年生6名・四大2年生2名については、令和2年度球技大会にて行う。

日時：令和2年5月21日(木) 場所：松江市総合体育館

➤ 問い合わせ先

所属：島根県立大学松江キャンパス教務学生課 錦織 彩

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：m-kyoumu@u-shimane.ac.jp

大学院看護学研究科看護学専攻高度実践者養成コース 診療看護師（NP）プライマリ・ケア領域の開設について

1. 概要

医療施設や在宅などにおいて、医学的知識を深めることで患者の症状を的確に判断してケアができ、さらに医師の包括的指示のもと手順書に従って、特定の医療行為を行うことができる診療看護師（NP）の養成課程を、令和2年4月に当学出雲キャンパスの大学院看護学研究科に開設をします。

診療看護師（NP）は臨床経験を5年以上積んだ看護師が、大学院で2年間特定行為研修を含んだ専門教育を受け、日本NP教育大学院協議会（大分市）が行う「NP資格認定試験」に合格することで認定を受けることができます。

現在、診療看護師（NP）の養成課程は全国で10校あり、中国・四国地方では初めての養成課程になります。

【参考】

「特定の医療行為とは」

診療の補助であって、看護師が手順書により行う場合に、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能が特に必要とされるものとして厚生労働省症例で定められている21区分38行為のものをいう。

2. 内容

高齢化と人口減少が進む中、中山間地域・離島などの医師不足を補い、地域医療に対応できる診療看護師（NP）の養成を目指します。2年間で基盤科目と専門科目の計55単位の取得が必要で、特定行為研修を含んだ内容になっております。

特定行為研修の「共通科目」では、放送大学大学院のeラーニングを導入し、自宅や職場からもインターネットを利用して受講することができます。また、実習に関しては、島根県内の病院で行います。

3. 特定行為区分について

当学大学院で習得できる特定行為区分は、以下の8区分12行為です。

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理関連）	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与 抗精神病薬の臨時的投与 抗不安薬の臨時的投与

令和2年2月25日
島根県立大学 出雲キャンパス
担当：看護栄養学部看護学科
渡邊克俊（わたなべ かつとし）
電話：0853-20-0200

献血サークル「あかえんぴつくん」 文部科学大臣賞受賞について

1. 概要

優れたボランティア活動を行なった団体に贈呈される「第14回SYDボランティア奨励賞」（主催：公益財団法人修養団・後援：文部科学省ほか）において、出雲キャンパスの献血サークル「あかえんぴつくん」が、最高賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

2. 第14回SYDボランティア奨励賞贈呈式

日時：令和2年2月23日（日）14：30～15：30

場所：公益財団法人修養団 SYD ホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2）

主催：公益財団法人修養団 後援：文部科学省ほか

応募総数：79団体

贈呈式出席者：献血サークル「あかえんぴつくん」

看護学科 2年 濱田香菜子（サークル長）

看護学科 2年 松直奈月

看護学科 2年 松本優香

賞牌（クリスタルトロフィー）

副賞（団体活動費 20万円）

3. 評価のポイント

献血サークル「あかえんぴつくん」は、献血の推進、移植医療の普及啓発（特に骨髄バンクのドナー登録）を活動の柱に、2002年から続いている学生サークルで、現在14名の学生が活動しています。

日本骨髄財団認定の「骨髄ドナー登録説明員」資格を10人の学生が取得しており、2018年6月10日の大学祭「つわぶき祭」では、島根県内において一度の登録会で過去最高のドナー登録者数42名の実績を上げました。

こうした長年の取組と骨髄バンクドナー活動が評価され、受賞が決定しました。

4. その他

・SYD（公益社団法人 修養団）について

1906年（明治39年）に、東京府師範学校（現在の東京学芸大学）に在学中の蓮沼門三（1882～1980）を中心とする学生達によって創立された社会教育団体で、平成23年3月22日には内閣総理大臣より「公益財団法人修養団」として、認定を受けた。

（SYDホームページより抜粋）

第14回 SYDボランティア奨励賞贈呈式

文部科学大臣賞 献血サークル あかえんぴつくん



賞牌（クリスタルトロフィー）受賞の場面



受賞後のスピーチの場面



記念撮影の場面



令和2年2月23日（日・祝）

SYDホール（東京都渋谷区千駄ヶ谷）

令和元年度

第14回SYDボランティア奨励賞

受賞者一覧

(敬称略・順不同)

【文部科学大臣賞】 1点

島根県立大学 献血サークルあかえんぴつくん
(島根県)

【優秀賞】 2点

《小・中学生の部》 稲城二中シンガーズ (東京都)
《高校生の部》 名古屋市立工芸高等学校 防災チーム (愛知県)
《大学・一般の部》 該当なし

【特別賞】 2点

復興支援東北の物産販売 高校生プロジェクト in 岩見沢
(北海道)
宮城県農業高等学校 次世代の被災地語り部ボランティア
(宮城県)